



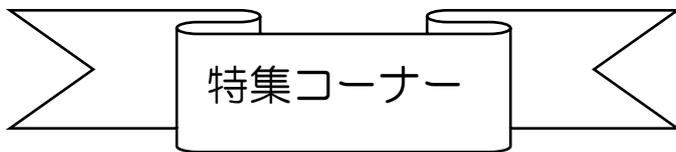
オアシス

文責：学長
桑原雅次

出雲芸術アカデミーだより 2023年8月9日発行 第64号

8月に入っても猛暑が続き、台風の接近にも気を配らなくてはならないなど、気候変動が顕著になってきているのが実感できます。

さて、この度、私たちのコンサートマスター“高畑壮平”さんから、本アカデミー宛てに気持ちのこもったメールが届きました。早速、この便りを活用して皆様に紹介したいと思います。高畑さんの言葉は、お世辞でも謙遜でもありません。本気なのです。この1年間お付き合いしてみて、誠に実直な方だと確信しています。皆さんも素直に受け入れてください。



ドイツから
マイキーより

今回もとても楽しい出雲滞在でした。そして演奏をご一緒して下さいました方達、また演奏会を聴きに来て下さった皆様に「有難うございました！」とまず最初にお礼を言いたいです。

今回は予定が全然頭に入らない程「盛り沢山」で、ぎっしり詰まっていたにも関わらず、もう楽しくて楽しくて、疲れが出る暇もないくらい、皆さんとの交流を満喫しました。活動自体は元々私がとても興味を持っていた内容なのでその場に行くのと直ぐに「エイヤッ」と飛び込み、時間が経つのを忘れてアカデミーの皆さんと御一緒出来ることを楽しみました。これはひとえに私の来日前に中井さんを始めアカデミーの皆さんが「食べ物の好み」まで調べ上げ、私を迎える準備をして下さったお陰と、感謝しています。

おっと、食べ物のことを最初に書いてしまいましたが、音楽に関しては今回の中心は「オペレッタ」という事でした。これはもう私がドイツで40年間「私個人の好きな物」としてかかわってきた事なので、「猫に鯉節、河童にキュウリ」的な活動となりました。

その上に中井芸術監督がとても自然な流れで私のやりやすい様に工夫して下さいましたので、もうその中を「河童がスイスイ泳ぎまくった10日間」でした。

そのような活動を通して幾つかの事に気がつきました。

その① チェンバーオケのメンバーの皆さんが意外と「笑いのツボに弱い！」という事。あ、冗談です。いやそれは本当ですけど、前回の滞在時よりぐーんと親しくお話して下さいまして、こちらもそれに甘えてツイツイ乗り過ぎて笑い転げるシーンが幾つも有りました。そのお陰で音楽のリハの際には、いきなり鋭い本題に入っても違和感なくサロンコンサートの曲目の様に「癖強キャラ」の音楽でも皆さん(福ちゃん、玉ちゃん、永ちゃん)がドンドン乗ってきて下さり、本番では本当に熱の入った演奏が出来たと思います。

調子に乗りまくってテノールの野津さん、ソプラノの知穂さんにはワルツを踊るようお願いをしまいました…。その甲斐あって、本番でお二人が優雅に踊り始めると前の方の素敵な奥様方が思わず「素敵！」と拍手して下さいました。この反応に「これこれ、これだよ！」と私は演奏しながら思わず「やった～！」とにやけてしまいました。

ヨーロッパのオペレッタの会場は舞台もお客様も一緒になってその場の雰囲気を楽しむのです。この調子で将来的にもお客様に楽しんで頂き、いずれは出雲が「オペレッタの街」と言われる様な素敵な街になると良いな～と「密かに」思っています。(ネタバレ👁)

ご一緒して下さいた皆さんが見る見るうちにドンドン積極的にご自分の素晴らしい音楽を開放して表現して下さいの様子に「ここはドイツか出雲か…」と錯覚を起こす程でした。

ここでは、「ミッキー」こと“望月美希”さんの素晴らしいピアノが大きく影響しました。ブルガリアで培われたピアニストとしての実力、特に「本物のヨーロッパ的な感性」、それがあったからこそマイキーが全く違和感なくドイツでの経験を伸び伸びと発揮することが出来、結果、皆さんとのとても楽しいコンサートが実現しました。「ミッキーありがとう！」

兎に角(とにかく)「疲れている暇もない」程充実していました。

あ、もう一つ普段私と冗談を言い合っている《福ちゃん》こと“福田悠子”さんが、「交響神楽」のリハで、コンミスとして「落ち着いた頼りになる姿」を見せて下さいました。それを後ろから見ていた私は「うんうん、良い仕事をしとるのー」と頼もしい娘を見ている父親のような気持ちになりました。

その② 市民会館での「交響神楽」と「千と千尋の神隠し」のリハの際、ジュニアの可愛い子供達が私の所にやって来て「高畑さんここはどうやって弾くんですか？」と質問してくれました。その時の私は「頼りになる年長さん気分」でした。礼儀正しく素直で、研究熱心で…。ああ、ここ出雲では素晴らしい子供たちが音楽と共にすくすく育っているんだなー、と感激してしまいました。

私は既に40年もドイツのオーケストラでコンサートマスターを務め、ドイツ人相手に深い音楽の世界で生活してきたわけですが、ここに来て急に「ジュニアのメンバーの様な素晴らしい子供達と一緒に演奏し、私の経験を直接お話して、子供たちが飛躍する為の踏み台、バネになりたい！」と思いました。これは本当に自分でも驚く様な新しい体験でした。

この素晴らしい子供たちをここまで伸ばして下さいた先生方、ご両親様、アカデミーの中井芸術監督、桑原学長先生、山田部長さん、スタッフの皆さん、関係者の皆さん、出雲市民の皆さん、そして忘れてはならないのが米山名誉学長先生であり、心から敬意を表したいと思います。

その③ 今回も合唱の方達との交流がありました。その時の音楽に対する大変熱心な姿勢が強く印象に残っています。このことは、普段ご指導される“森山由紀美”先生や中井芸術監督のご指導のスタイルからきていることと思われます。そして、「ただ大きな声で歌う喜び(これはこれで快感ですが…)」を遥かに超えていて、様々な表現に対する意欲を常にお持ちであるという事です。

器楽奏者の私から見て、「交響神楽の様な複雑な構成音は、すぐには取れないよ」という場面でも臆せずチャレンジされる！

また、中井芸術監督と私が何の事前打ち合わせもなく、「こんなの出来るかなー」と思いながらゲリラ的にテーマを出す場面でも、皆さんはすごく積極的にご自分たちの歌に反映させようとされ

ます。更に「そう来るならこれではどうだ！」と高度な要求をする「鬼の中井(?)と高畑とのタッグ！」に対し、合唱の皆さんはビクともされず「そんなもの、これでどうじゃ！」と切り返してこられる!!! 等々、なかなか熱のこもった楽しい時間でした。

今回もですが、お会いするたびに親しく話しかけて下さる事を高畑は大変うれしく思っています。この柵(しがらみ)を超えた嬉しいお付き合いに感謝です。

そして忘れてはならないのが、「交響神楽」のリハで初めて聴いた「キッザニア(小学生による合唱)」の素晴らしい歌声です!! 表情豊かな歌唱は勿論ですが、何より「凄いなー」と思ったのは、素晴らしくよく通る声です。発声が素晴らしいと思いました。日頃の先生の教えのたまものでしょう。キッザニアの皆さんとご一緒できることを大変うれしく思います。

その④ 今回出雲市長さんにお会いすることが出来、私の感じた出雲芸術アカデミーの素晴らしさをお話しました。お忙しい中、市長さんは熱心に私の話をお聞きくださいました。その上翌日には大変お忙しいスケジュールの中、市役所でのロビーコンサートにお出かけいただき、私たちの演奏を聴いて下さいました。それは大変嬉しい事でした。市長さん、ありがとうございました!!!

この様に今、出雲芸術アカデミーはドンドン飛躍しています。私は今ドイツに居ますが、「次の来日時には出雲で何が出来るのだろうか…!!!」とワクワクしています。

これからも市民の皆様のご協力を賜って、もっともっと音楽の楽しさが出雲の街に広がりますように!!!

肌寒いドイツより、マイキー高畑

フォトギャラリー

ロビー
コンサ
ート



出雲市長 表敬訪問



アウトリーチ (左からマリア園・光幼保園・大社幼稚園)



コーラス・レパートリー
&マイキー



親子でサロンコンサート
福田組によるアンサンブル



Jr 弦楽器講座

公開リハ

交響神楽！
過去の作品を視聴！



公開リハーサルの様子



米山名苔学長から励ましのお言葉！



昼下がり
サロンコンサート



チェンバーde
オペレッタ

